



三重中央だより

当院の理念(Principle) ●いのちの尊さを自覚し、病む人の身になって、安心で質の高い医療を行います。

テーマ 今年も三重中央／心優しく

新年のご挨拶

独立行政法人国立病院機構 三重中央医療センター
院長 森本 保

新年を迎えますは大きな災害のない穏やかな一年となることを祈っております。東日本大震災以後も毎年皆の記憶に残る自然災害が起こっていますが、改めて犠牲になられた方々のご冥福と共にそれぞれの被災地の一刻も早い復興をお祈りいたします。

一昨年8月に出された「社会保障制度改革国民会議」の報告書に沿って昨年からの具体的な医療政策が動き出しています。「病院完結型」から「地域完結型」の医療を実行すること、すなわち急性期医療から在宅医療まで医療施設の機能分化と連携の推進、さらに医療と介護の連携が求められています。各県は地域の医療構想を構築することとされ、そのため病院には自院の病床の担っている機能や役割を申告することが求められ既に第一段階の報告が終わりました。三重中央医療センターは一部の高度急性期を含む急性期医療の診療機能を高め、地域の病院、医院をはじめ多くの医療福祉施設等との緊密な連携が実践されるよう継続して取り組む所存です。また同時に医療を利用する

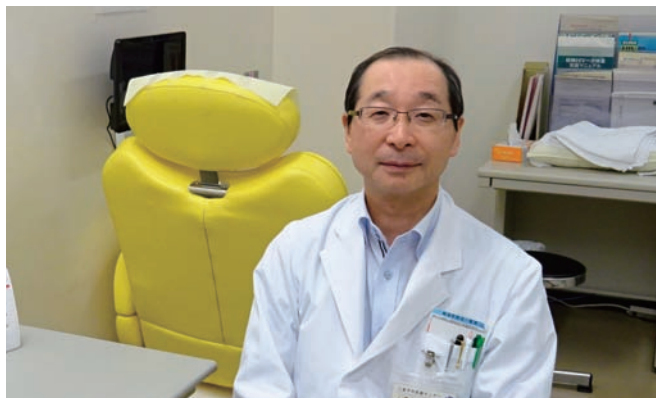
すべての国民の協力と意識の変化も求められ「いつでも、好きなところで」と極めて広く解釈されることもあったフリーアクセスを「必要な時に必要な医療にアクセスできる」という意味に理解しようと提言されました。住民の皆様には是非それぞれの地域の中で身近に相談できる「かかりつけ医」の先生を持っていただくようお勧め致します。

昨年より医師をはじめ多くの医療専門職がそれぞれの専門領域の話題をご希望される方々のもとに出向いてお話しする健康講座である「出前！市民公開講座」を始めましたが、多くの職員そして住民の皆さんのご協力のおかげで好評を得ています。また沢山の地域の皆様にも参加していただき開催した「ミエチュウオウ文化祭」も盛会裏に終えることが出来ました。今後も地域の皆様から高い評価と大きな信頼の得られる三重中央医療センターに発展させるよう職員心を一つにして病院運営に取り組みますので、引き続きご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが皆様にとって良き一年となりますようお祈り申し上げます。



年男 年女



婦人科医長 **吉村 公一** 【1955年】

「スーパーマン」

明けましておめでとうございます。今年、2015年は未（ひつじ）年。年男を代表して「何か書きなさい。」という院内メールが統括診療部長から届き、「はい、いいですよ。」と安請け合いして、「そうか、年男かあ。若いと思っていたのになあ・・・。」と気づいた次第です。そして後悔しつつこれを書いています。無から有を生み出すのは何と苦しいことか。

私は、今年で還暦に。30代、40代は体力・気力もあり、ちょうどこの病院が開院する半年前（平成10年1月）に三重大学附属病院から当院の前身の「津病院」に転勤して来ましたが、その時は産婦人科の医師は自分を含めて4人でした。新病院では2日連続の当直もこなし、長時間の手術も苦にせず、今思えば何の根拠もないのにスーパーマンのようになんでも出来ると思い込みがあったように思います。しかし最近、前院長の坂井先生が「医師はスーパーマンではありません。」と数年前の病院だよりに書かれていたのを思い出します。これは、医師への過度の期待を戒めたお言葉でしたが、自分を戒める言葉でもあります。

確かに、少々根気がなくなり「明日できることは今日しない。」とか「患者の健康より自分の健康。」などの不埒なフレーズが頭をよぎることもあります。この病院全体の勢いも開院後からは徐々に盛り上がり、いろんな意味で数年前にそのピークがあり、現在はやや下降しつつあるように自分に重ね合わせて感じます。しかし、新しい年を迎えてこの病院の勢いも再上昇することを願い、また自分も還暦を迎えて心を新たに再スタートを切りたいと思います。自分はスーパーマンではありませんが、この病院の各科、各部署にはスーパーマンのように働いている人がおられることでしょう。彼らの邪魔をせず、応援したいと思います。がんばれ「スーパーマンのようなひと」

追記：テレビなどでは「スーパーマン」の女性版は「ワンダーウーマン」ですが、ここでは男女を区別せず「スーパーマン」と表現しました。



三重中央看護学校教員 **橋爪さち代** 【1967年】

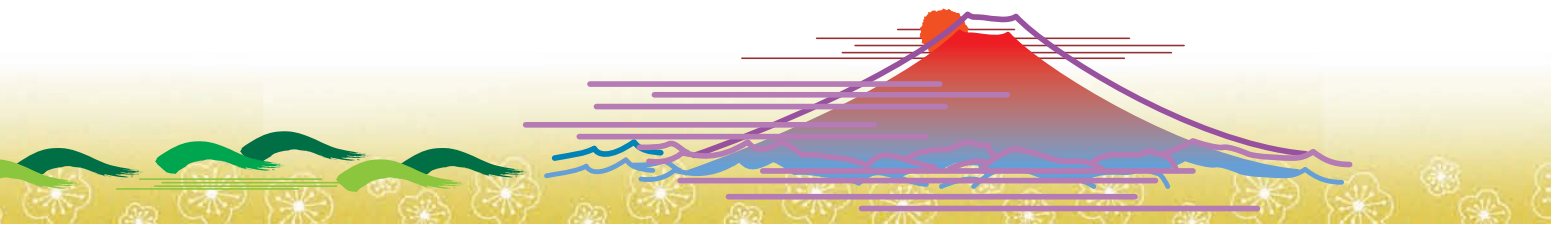
「七転八倒から七転び八起きをめざして」

あけましておめでとうございます。

私は、今までの看護経験から、看護は人を見ることから始まると思っています。さらに人を見る事が出来、十人十色のトータルヒューマンケアが可能になるとと思っています。

昨年4月に、三重中央看護学校に採用していただき、不慣れな環境と未熟な指導力で七転八倒しながら、切磋琢磨の年でした。9ヶ月間、世代の違う学生と関わり、看護スキルを身につけるだけでなく、人を見ることの出来る人材に育って欲しいと思っています。そのために、私は、学生が基礎看護能力を学び学生自らが看護観を見出せることが自分に課せられた役目だと思っています。それを常に心掛け、接するようにしています。まだまだ未熟な私ですが、本年は、七転八倒から七転び八起きをめざし、励んでいきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。





看護師 **高橋 睦実** 【1979年】

天職にさらなる輝きを

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は未年、年女ということで三重中央だよりで紹介して頂くこととなりました。

年頭にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

私は、西3階救急病棟に併設の集中治療室(ICU)に看護師として勤務しております。

一般病棟と違い病棟外に出る事が少ないため、皆様にお会いする機会は少ないと思いますが、時々外来業務に携わる事もありますので見かけましたらお気軽にお声がけください。

早いもので3回目の年女、看護師になり16年目になりました。

幼少期より憧れていた看護師という職に就くことができ自分ではこれが天職だと思っています。この16年でさまざまな病棟での勤務を経験しましたが、現在は当初より私の希望であった救急・重症集中ケア領域での勤務に就くことができ毎日奮闘しながらも非常に充実した日々を過ごしております。

“やりたい事はやってみる”をモットーに何にでもチャレンジしていきたい性格。

私生活では42kgの大型犬バーニーズマウンテンドックと同居中。休日はワンコを連れて色々お出かけの日々を過ごしています。

同僚の間では、すっかり愛犬家のイメージが定着していると思います。

2015年も、とびきりの癒しを与えてくれる最愛の愛犬とともに、仕事も私生活も100%の全力で楽しく過ごしていこうと思っています。

みなさまも素敵な一年をお過ごしください。



放射線技師 **和田 聖也** 【1991年】

飛躍の年になりますように

新年明けましておめでとうございます。

今年「年男」ということで、三重中央だよりに掲載する機会をいただきましたので、一言申し上げます。

私は平成26年4月に診療放射線技師として採用していただき、まだ1年目です。昨年は毎日が新しいことの連続であり、あっという間に時間が過ぎてしまいました。わからないことも多く、先輩方から指示されるままに仕事をしていたように思います。とても多くの皆様に大変お世話になってきた事を深く感謝しております。

今年は、ぜひとも自分なりに創意工夫を試みながら、仕事にチャレンジする気持ちを持ち続けていきたいと思っています。1日も早く三重中央医療センターの一員として、一人前になれるよう励んでいきます。今年も変わらぬご指導どうぞお願い致します。



天使の笑顔!

キラリ・ホット実例集

手を握るだけでも

不整脈の治療のため入院されていた50歳代女性（以下Aさん）とのエピソードです。Aさんは明るくて、韓流ドラマが大好きな方でしたが、とても不安を訴えられる方でした。点滴も難しく、漏れてしまったときは再挿入が大変でした。

4人床に入院されて、点滴治療をしていたある日、モニター上不整脈が持続することがありました。12誘導をとったり、新しい点滴の指示が出たり、主治医の先生がベットサイドで処置をしたりしました。私は主治医の指示を待つ間、近くで声掛けをしたり、手を握ったりして関わりました。その後、不整脈が落ち着きベッドサイドを離れました。

後日、治療が落ち着いた頃「あの時ずっと手を握ってくれていたでしょう。あれがすごく嬉しかったの。」と言われました。処置を手早く確実にを行い治療をすることは大切だけれど、そばにいて優しく声掛けしたり、手で身体をさわって励ましたり、手を握ることはそれだけで看護となるのだと実感しとても嬉しく思いました。

新人の頃の思い出

私が新人の頃、ある患者さんの採血をすることになりました。その患者さんの採血は、とても難しく2回失敗してしまいました。私はこれ以上失敗できないと思い「すみません。他の看護師に代わってもらいます。」と患者さんへ伝えました。すると患者さんは、「今ここでやめたら出来なくなるから、出来るまでやりなさい。」とおっしゃいました。そして、無事に採血できたとき「これで次からできるようになるよ。」と一緒に喜んでくれました。新人の私を信じてくれたことの感謝と、看護師としての責任感を覚えた出来事でした。





ママ ガンバレ!!

助産師になって、20数年。数々のお産に関わらせて頂くとその数だけドラマがあります。その中でも、特に思い出に残る一つのエピソードは、妊婦Aさんの素晴らしいお産の体験です。

Aさんは、切迫早産で4か月半もの長い間入院生活を送っていました。Aさんは小さい体ですが、気持ちは常に前向きで、4か月半の間愚痴のひとつなく穏やかに過ごされました。

ある日、Aさんから「長く入院するってことは、それにも意味があるってことですよね、私が赤ちゃんに出来ることってあと何かありますか？」と真剣に質問されました。

私は「Aさんは、十分に点滴治療、安静治療頑張っただけ見えますよ。これ以上頑張らなくていいと思いますが、神様はきっと赤ちゃんとお母さんの時間を大切にとこの時間を与えてくれているのかも知れません。それなら、夜寝る前に瞑想の時間をもって、赤ちゃんとうっくりお話されてはどうでしょうか。」と提案させていただきました。

それ以来Aさんは、毎晩赤ちゃんとの会話の時間（瞑想の時間）を持つようになりました。話の最後には、いつも「私のお腹に来てくれて本当にありがとう。36週になるまで、ママとのこの会話を楽しみましょうね。」とずっと言い続けたそうです。

ママとの瞑想の時間は、赤ちゃんもすこぶる元気に動きました。

Aさんは、「いいこと、教えてもらって良かった。」と笑顔で話し、瞑想の時間が楽しそうでした。

私が深夜夜勤の日、Aさんからナースコールが入りました。陣痛発生！

その日は、Aさんの待望の36週0日の夜でした。

当直医は主治医でお産番は私でという、申し合わせたかのごとく条件でお産はどんどん進みました。

漁師の夫も漁から帰ってきて、お産にしっかり間に合いました。

「Aさん、全て条件揃い過ぎていない？どうして？」という私の質問にも、「毎日の瞑想のおかげで、胎教がすこぶる良くなったのかも。」と笑顔で答えてくれました。

瞑想の時間は、いい胎教の時間になり、尚一層ママの心を穏やかにしてくれたのかもしれない。

赤ちゃんは、ママと一体です。以心伝心。ママの心の乱れが赤ちゃんにも伝わります。

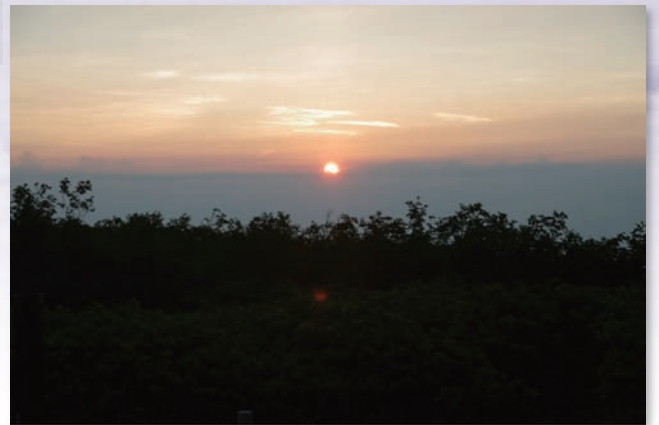
毎日、妊婦と向き合う私たち助産師が、ママの精神状態をしっかり把握して受け止め、安心してお産に臨めるよう今後もかかわっていきたいと思います。

風景写真展

細菌血清主任 中野 学



羊蹄山 1,898m (北海道)
2015 年羊年



ライチョウ平で迎えたご来光



早春の登山道脇を彩る金色のフクジュソウ (福寿草)
藤原岳 (三重県)



多気町朝柄にある八柱神社で、奉納される獅子舞
(舞踊：朝柄文化財保存会)



輝くメディカルスタッフたち

医師、看護師以外にも、多くの専門性を持ったスタッフが当院院内で活動しています。その人と仕事にスポットを当てて紹介します。

理学療法士 磯田 裕介

みなさん、新年あけましておめでとうございます。初詣は行かれましたか？私は、伊勢神宮に初詣に行くのが新年の恒例行事となっています。

私は、リハビリテーション科の理学療法士として勤務しています。理学療法士を一言でいうならば、動作の専門家です。病気や怪我によって、日常生活に必要な運動機能を損なった人を対象に、寝返る、起き上がる、立ち上がる、歩くなどの日常生活を行う上で基本となる動作の改善を目指します。関節可動域の拡大、筋力強化、麻痺の回復、痛みの軽減など運動機能に直接働きかける治療法から、動作練習、歩行練習などの能力向上を目指す治療法まで動作改善に必要な技術を用いて日常生活の自立を目指します。

身体的なケアはもちろんもちろんですが、心のケアも仕事の1つに挙げられます。リハビリテーションを必要とする方は、身体を思うように動かすことができないもどかしさから精神的な不安を抱えてい

る場合が多いため、その部分をケアすることが、大切です。

当院では心大血管疾患、脳血管疾患、運動器、呼吸器、小児のリハビリテーションを行っています。昨年10月から新たに、がんのリハビリテーションを開始しました。私も研修に行き、がんのリハビリテーションに携わっています。それと同時に、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床心理士、MSWと多職種のスタッフからなる緩和ケアチームと一緒に週1回のカンファレンスに参加しています。リハビリを通じて、がん患者様と関わることや、緩和ケアチームとの、がんリハカンファレンス、病棟回診を経験する中で、心のケアの重要性を改めて実感しました。

これからも患者様の身体と心の変化を感じ取りながら、1人1人に合った医療を提供できるよう努力していきます。



シリーズ 医療用語の 基礎知識 7

病院職員が何気なく使用している用語で、普通にはあまり馴染みがない医療用語を分かりやすく解説します。

インフォームドコンセント

インフォームドコンセント (informed consent 以下「IC」と略します)・・・

最近は何でも横文字になって分かりにくいですが、どんな意味がわかりますか？日本では主に医療現場で使用されており、その意味は「治療方法などについて、医師から十分な説明を受けた上で、患者が理解と納得をして同意する」とされています。患者本人の選択権、自由意志を最大限尊重するという理念に基づいた考え方ですが、医療者側にも「適切な説明を行って、医療を受ける者の理解を得よう努力する義務」が医療法という法律に定められています。

一般的には口頭での説明が多いですが、入院や手術をするときに、医師から説明を受け、なにげなく同意書にサインをしたことがある人もいると思います。意識していなかったかもしれませんが、それがICです。残念なことに説明をする側とされる側に圧倒的な知識の差があり、また説明する時間にも限りがあるため、なるべく分かりやすい言葉で丁寧に説明はするよう努めているのですが、患者側はなかなか正しく理解できないのが現実だと思います。ICは原則本人とのやりとりになりますが、例えば患者が未成年者、意識障害があった場合などは家族の方に説明することもあります。また、救急患者で時間的余裕がない場合などは事後説明になってしまいます。更に昨今は告知することが多いのですが、終末期の癌患者などについては、本人の性格、精神状態、家族の希望などを十分に考慮しながら説明する必要も出てきます。

「餅は餅屋」という考え方も世の中にはありますが、現在の医療現場ではこの「IC」の概念が主流です。皆さんにもしICの機会があり、何か分からないことがあった時は、怖がらずにどうか質問してみてください。まずは理解していただくことが大切です。

(医事 伊藤啓之)





緩和ケア外来開設のお知らせ

11月号でご案内させていただいておりました、『緩和ケア外来』を本年1月より毎週金曜日14:00～17:00にスタートいたしました。外来担当表をご覧ください。

ご相談・お問い合わせは、がん相談室・地域医療連携室までご連絡ください。



「出前！市民公開講座」

誕生
1年

出前！市民公開講座は地域の皆様に支えられ、この1月をもって開設後1年が経過いたします。

あっという間の1年でした。沢山の団体の方から声をかけていただき、41講座を開催できました。リピーターも増すばかりで、本当に感謝申し上げます。

今年も皆様にたくさんお会いできることを楽しみにしております。



毎月恒例となりました。

サンバレーでの講演は今後
も予定が盛りたくさんです。

是非、ご来場ください。



今後の出前！市民公開講座予定

1月24日(土) イオン津南ショッピングセンターサンバレー1Fサンバレーホール 14時～15時

あなたの大切な人を守るために救急車が来る前にすべきこと

～誰にもできる心肺蘇生～

AEDや人形を使って体験できます！

ぜひお越しください。

「クローバー友の会」 会 員 募 集

「クローバー友の会」は地域の皆様と病院が、様々な病
気・医療の学習を通して理解を深め合う会として発足し
ました。賛同いただける方はぜひ会員登録をお願いいた
します。登録は無料です。会員には当院から健康に関す
る様々な情報をお届けします。受付でお声かけください。
登録と同時に会員証をお渡しいたします。

記入いただいた個人情報には本会の業務以外には使用せ
ず、安全かつ適切に管理いたします。

三重中央医療センター 地域医療連携室

独立行政法人 国立病院機構
三重中央医療センター
クローバー友の会事務局

〒514-1101 三重県津市久居明神町2158-5
TEL 059-259-1211 内
地域医療連携室



会員にご登録いただきありがとうございます。
講演会に参加いただくことに1スタンプ押印いたします。
(スタンプ数による特典は別紙公表いたします。特典は変わることがあります。)

■会員様
住所 _____
氏名 _____
電話 _____



マグカップ完成！

クローバー友の会 出前！市民公開
講座参加特典として10回ご聴講頂いた
方に、当院特製のマグカップをプレゼ
ントいたします。



お詫びと訂正

三重中央だより第65号において誤りおよび記載漏れがありました。ここにお詫びと訂正をさせていただきます。



12 ページ
ながたレディースクリニック様 病院名の誤り
誤 正
ながたレディースクリニック ながたレディースクリニック



13 ページ：たかはし内科様 記載漏れ
院 長：高橋 岳夫
所 在 地：〒514-0035 津市西丸之内 38-11
T E L：059-221-1000 ☎予約診療も可
診療科目：内科、循環器科、呼吸器科、消化器科、アレルギー科
診療時間：

	月	火	水	木	金	土
AM 9：00～13：00	●	●	●	●	●	●
PM 4：00～7：00	●	●	●	／	●	◎

 ◎土曜日午後診療 PM1:00～5:00
在宅・往診応需
休 診 日：木曜日午後・日曜日・祝日

編 集 後 記

新年明けましておめでとうございます。私ごとですが昨年12月に50歳になってしまいま
した。この半世紀には、固定電話は携帯電話に、フィルムカメラはデジタルカメラに、ブ
ラウン管テレビは薄型テレビへと進化してきました。この久居地区の50年前は、どんな様
子だったのでしょうか？三重中央だよりでは、読者の皆さんの青春グラフィティや昔の久
居地区の様子などの写真を紹介したいと思いますので、懐かしい写真などありましたらコ
メントを添えて地域医療連携室に投稿して下さい。(沖)

発行所

三重中央医療センター

院長 森 本 保

三重県津市久居明神町2158番地5
TEL. 059-259-1211
<http://www.hosp.go.jp/~nmch>

●●● 三重中央医療センター連携医療機関紹介 ●●●●●●●

まつしまクリニック



当院は桜ヶ丘団地の入り口（出口？）に開院して19年目になります。

現在、当院の敷地を削るように（実際に削られました）中勢バイパス建設工事が進行中です。

胃腸科、一般内科の患者さんが中心で、西洋薬だけでなく漢方薬も用いて、一人一人に合った治

療を心がけています。診断に迷う患者さんや専門医の診察が必要と思われる患者さんは三重中央医療センターへ紹介させて頂いています。これからも宜しくお願いいたします。

医 師：松嶋 一晃
 診療科目：内科・外科・その他（胃腸科・肛門科）
 診療時間：午前9：00～12：00
 午後15：30～19：00
 休 診 日：日曜・祝日・木曜午後・土曜午後
 住 所：〒514-1112 津市久居小野辺町1763-5
 T E L：059-255-8600
 F A X：059-255-8602

草 川 医 院



津市の北の端で診療所を1998年に再開しました。病院勤務時代は主に消化器外科の仕事をしていましたが現職は地域の方々のよろず診療所的な位置づけと理解しています。来院される方々の55%が65歳以上、32%が75歳以上です。稲刈りが済んだ頃から2～3ヶ月は津市がん検診も相応の比重を占めます。

10年程前から往診を依頼されることが増え、寝たきりの方や末期の方を含め診させていただいているうちにたかだか10例、月間50回程度でひとりの力の限界を感じる

ようになりました。ちょうどその頃「在宅医療の地域連携」が求められるようになり津地区医師会の在宅医療担当職に就かせていただきました。地域や施設によって事情は様々だと思いますが、できるだけ自分の患者さんは最期まで診、来院困難になれば様々な職種の連携のもと、要望があれば在宅で対応し、繁忙やご体調からそれが困難な先生方には在宅に力点を置いた診療所が支援するような地域連携を目指しています。

三重中央医療センターの皆様にも在宅医療・療養の啓発と在宅症例の受け入れにご助力をお願いします。

院 長：草川 雅之
 診療科目：内科 消化器内科 外科 肛門外科
 所 在 地：〒514-0125 津市大里窪田町1735-1
 電 話：059-232-2210

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9：00～12：00	○	○	○	○	○	○	△
16：00～19：00	○	○	○	△	○	△	△

14：00～16：00（月・火・水・金）；往診・訪問診療
 △：14：00～17：00

医療法人 桂会 新町整形外科診療所

ホームページアドレス：<http://www.shinmachi.ortho-clin.com/>



当院は「痛みとところを癒すクリニック」をコンセプトに、診断機材としてレントゲンとMRI、治療方法として生活指導・運動指導・薬物注射を用いて診療しています。

勉強会やリハビリカンファレンスを定期的に行い、患者さん中心のチーム医療を目指して研鑽しています。

関節リウマチを含む関節外科、慢性疼痛、骨粗鬆症、スポーツ外傷が得意領域です。

当院で十分対応できない病状でも「次にどこにかかれば良いか」までサポートしますのでお気軽にご相談ください。



院長：佐野 哲也（整形外科）
 医師：佐野 實（整形外科）
 細井 哲（整形外科）
 井上 玄（整形外科）
 井上 桂（精神科）
 宇野 克弘（精神科）
 蛭薙 典子（神経内科）
 矢田 健一郎（神経内科）

診療科目：整形外科（リウマチ・リハビリテーション・骨密度・MRI）
 精神科（精神科デイケア）
 神経内科

住所：〒514-0046

三重県津市大園町4-29 大園荘1F

電話：059-222-5111 FAX：059-222-8585

診察時間	月	火	水	木	金	土	日
9：00～12：30	○	○	○	○	○	○	
15：00～18：30	○	○	○		○		

坂の上クリニック

ホームページアドレス：<http://www.sakanoue-c.jp/>



坂の上クリニックは平成15年3月に開業し、地域の皆様の健康な暮らしにお役に立てできるようにと、約12年この地で診療を続けてまいりました。

整形外科・内科・外科・リハビリテーション科といった診療科目をかかげ、地域の皆様のお役に立てるように、患者様の病気に関わる問題すべてに柔軟に対応し、気楽に相談、来院できる地域密着型の医院になれるよう心がけ診療に従事しております。

これからも、病気を治すという医療だけでなく病気にかからないよう予防医学にも力を置き、地域の皆様の“かかりつけ医”として心の通う医療を提供していきたいと考えております。

小さな医院ですが、今後も三重中央医療センターとの病院連携を取りながら、地域に密着した医療を提供できるようにがんばっていききたいと考えております。

院長：黒田 久弥
 診療科目：整形、内科、外科、リハビリテーション
 住所：〒514-0815 津市藤方154-1
 電話：059-238-5566 FAX：059-238-5567
 休診日：木曜日午後、日曜日、祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土
AM 9：00～12：00	○	○	○	○	○	○
PM 3：00～7：00	○	○	○		○	△
△：PM 2：00～5：00						



外来診療担当表

平成27年1月1日現在

診療科名等		月		火		水		木		金	
初診内科 (初診・予約外) *初診及び紹介患者様は、総合内科で診察いたします。		1 診	井端 英憲【呼】	大本 恭裕【呼】	北村 政美【循】	田中 剛史【糖】	川崎 敦【循】				
		2 診	竹内 圭介【消】	中久木 哲也【循】	藤本 源【呼】	田中 淳子【循】	後藤 浩之【糖】				
		3 診	新谷 卓也【循】	子日 克宣【消】	十時 利明【消】	渡邊 典子【消】	亀井 昭【消】				
		4 診	中谷 仁【循】	奥田 昌也【糖】	田口 由紀子【消】	岡野 智仁【呼】	西井 洋一【呼】				
		10 診		吉川 恭子【消】							
再診内科 (予約のみ)	呼吸器科	5 診				井端 英憲(午後再診)					
	循環器科	5 診	田中 淳子	川崎 敦	新谷 宇一郎	中久木 哲也(午前再診)	北村 政美				
	呼吸器科	6 診	藤本 源	井端 英憲	井端 英憲	大本 恭裕	大本 恭裕				
	消化器科	7 診	子日 克宣	亀井 昭	渡邊 典子	十時 利明	竹内 圭介				
	内 科	8 診	中久木 哲也【循】	新谷 卓也【循】	後藤 浩之【糖】	田口 由紀子【消】	中谷 仁【循】				
		9 診	後藤 浩之【糖】	田中 剛史【糖】	田中 剛史【糖】	田中(崇)【糖】	田中 剛史【糖】				
		10 診			西井 洋一【呼】	奥田 昌也【糖】	岡野 智仁【呼】				
整形1診			加藤 裕也【消】								
神経内科		1 診	北川 長生	梶川 博之(予約のみ)	北川 長生	梶川 博之	北川 長生(予約のみ)				
		2 診	吉丸 公子	北川 長生(予約のみ)	梶川 博之	北川 長生	吉丸 公子				
小児科		午 前	1 診	井戸 正流		井戸 正流	田中 滋己	田中 滋己			
			2 診	*NICUフォロー	*NICUフォロー	発達外来	*NICUフォロー				
			3 診		田中 滋己	山本 初実(予約)	井戸 正流				
			4 診	発達外来			発達外来				
		午 後	1 診	田中 滋己(予約)	乳児健診			予防接種			
			2 診	*NICUフォロー	2週間・1ヶ月健診	発達外来	*NICUフォロー				
			3 診	NICUフォロー		山本 初実(予約)	NICUフォロー	(NICUフォロー)			
外 科		1 診	湯浅 浩行	谷川 寛自	横井 一	信岡 祐	谷川 寛自				
		2 診	横井 一		武内 泰司郎		湯浅 浩行				
緩和ケア外来(午後予約のみ)							谷川 寛自				
整形外科 (予約・紹介のみ)		1 診	田中 雅		田中 雅		浅沼 由美子				
		2 診	長倉 剛		小寺 秀樹		長倉 剛				
		3 診	新谷 健		新谷 健		小寺 秀樹				
脳神経外科		1 診	霜坂 辰一	石田 藤麿	霜坂 辰一	種村 浩	石田 藤麿				
		2 診		種村 浩(初診)		芝 真人	霜坂 辰一(予約のみ)				
脊椎・脊髄外科				*水野 正喜 *診療時間は10：00～14：00までとなります。							
呼吸器外科				安達 勝利		樽川 智人	安達 勝利				
心臓血管外科			森本 保		佐藤 友昭	ペースメーカーチェック	日置 巖雄				
皮膚科(*予約・紹介のみ)			中西 朝子		中西 朝子	三重大学医師	中西 朝子				
泌尿器科 *水曜日の初診及び再来初診の受付時間は 8：30～10：00までとなります。		1 診		加藤 雅史	*加藤 雅史(初診)	加藤 雅史	加藤 雅史(初診)				
		2 診		岩本 陽一(初診)	岩本 陽一	岩本 陽一(初診)	岩本 陽一				
産科・婦人科	午前	1 診(初診)	前川 有香	日下 秀人	前田 眞	吉村 公一	澤木 泰仁				
		2 診(婦人科再診)	前田 眞	前田 佳紀	吉村 公一	前田 佳紀	日下 秀人				
		3 診(産科再診)	武田 真由子	道端 肇	前川 有香	武田 真由子	道端 肇				
		4 診(助産師外来)	毎日、完全予約制(担当は交代制)								
	午後	1 診(産科再診)	前川 有香	日下 秀人	前川 有香	前田 佳紀	澤木 泰仁				
		2 診(婦人科再診)	澤木 泰仁	前田 佳紀	吉村 公一	吉村 公一	日下 秀人				
		3 診	*助産師外来	産後一ヶ月健診	*助産師外来	*助産師外来	*助産師外来				
眼科(予約・紹介のみ) *水曜日の受付時間は8：30～10：30までとなります。			久瀬 真奈美		久瀬 真奈美	久瀬 真奈美	久瀬 真奈美				
耳鼻咽喉科		午前(初診)			*伊藤 由紀子	*伊藤 由紀子					
		午前(予約のみ)		伊藤 由紀子			伊藤 由紀子				
		午後(予約のみ)	伊藤 由紀子	中耳外来		中耳外来					
放射線科(7ブロック)			奥田 康之	奥田 康之	奥田 康之	奥田 康之	奥田 康之				
リハビリテーション科			小寺 秀樹	田中 雅	長倉 剛	長倉 剛	新谷 健				
歯科・歯科口腔外科			柳瀬 成章	柳瀬 成章	*柳瀬 成章	柳瀬 成章	柳瀬 成章(予約のみ)				
看護外来(予約)			看護外来 (第1月曜日 透析予防外来)	看護外来 (第3火曜日 透析予防外来)	糖尿病外来	ストーマ外来	フットケア外来				

*初診及び予約のない再診の方の受付時間は8:30～11:00までです。 *医師の人事異動・出張等により臨時に代診(休診)となる場合があります。
*当院のような急性期病院は、病棟入院患者様の処置、手術、検査、回診等があり、外来診療に制限を設けなければならない診療科もあることを御理解ください。

不整脈専門外来	肝炎外来	いびき・無呼吸検査	タバコ障害・COPD精査	ものわすれ外来	乳児健診	予防接種	NICUフォロー
月・火曜日 午前診療	月曜日 午前診療	月・火曜日 午前診療	月・火・水・木・金 午前診療	月・金曜日	火曜日 午後診療	金曜日 午後診療	月・火・木曜日 午前診療
循環器科(新谷)	消化器科(竹内)	呼吸器科	呼吸器科	神経内科(吉丸)	小児科		小児科(益野)
未破裂脳動脈瘤 専門外来	脊椎・脊髄外科専門	肺癌・良性肺腫瘍・ 気胸・縦隔腫瘍・嚢腫	中耳外来 (予約)	ブレママ外来	おっぱい外来 (予約)	発達外来	緩和ケア外来
金曜日 午後診療(要予約)	火曜日(10時～14時) (要予約・紹介)	火・木・金 午前診療	火・木曜日 午後診療	火・木・金曜日 午前診療	月・火・木曜日 午後診療	月・水・木曜日 診療	金曜日 午後診療(要予約)
脳神経外科(石田)	脊椎・脊髄外科(水野)	呼吸器外科	耳鼻咽喉科(伊藤)	産科・婦人科		小児科(山川)	外科(谷川)